

政務活動費活動報告（研修）

- (1) 研修名：第101回全国図書館大会 東京大会
- (2) 参加者：夢みらい 赤井 康彦
- (3) 日時・場所：平成27年10月15日、16日

【1. 研修目的】

本市において拠点図書館の整備は、重要施策の一つとなっているが現時点では、場所・内容等決定したものはない。

こうしたわが市の現状の中にあっても北部には市立図書館があり、この図書館の発展も考えねばならない。近年では、図書館のスタイルも変化しており「知の拠点」となるべく事例を学ぶ為、全国図書館大会に参加した。

【2. 結果報告】

(1) 内 容

基調報告 各図書館の現状と国の振興施策への期待
(日本図書館協会理事長 森 茜氏)

シンポジウム 図書館とまちづくり
パネリスト 慶應大学 糸賀 雅児氏
宇美町長 木原 忠 氏
熊谷図書館長 乙骨 敏夫氏

分科会1 公共図書館
分科会2 2 市民と図書館

(2) 考 察

毎年参加しているが、全国には活発に活動されている図書館がたくさんあることを実感する。加えて図書館が自治体施策の中で脚光を浴びるようになってきているが図書費の地域での格差も感じている。

問題解決を図るため、知の拠点施設として地域の地場産業や書店などとコラボする図書館があったり、また、県立図書館と市立図書館との2重行政の弊害を学んだ。

研修した内容を我が市と見比べると積極的に街中に出る図書館は、活気があって来館者も増えてくると推測され、市民が問題解決のためにネットだけではなく、図書館に来館することを真剣に考えねばならないと感じた。

加えて現在 CCC の指定管理に代表されるようにカフェなどを併設したり、来館者増には効果があるが、街の文化保護の観点からはいろんな意見が出てきていることも理解でき、我が市の今後の拠点図書館建設にとって重要な問題意識を持って議論することが大切だと認識できた研修であった。